

## 観光社会資本の事例

テーマ	流域の まち・ひと結ぶ 狩野川コリドー
【施設の状況写真】	
	
<p><small>おなりばし</small> 御成橋アンダーパス。自転車・歩行者は安全に県道を横断できる。</p>	<p>清水町ふれあい広場。コリドー整備により、このような周辺の拠点とも結びつく。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>「狩野川コリドーサイクリング&amp;ウォーキング」での一コマ。多くの参加者でにぎわう。またイベント時でなくとも、サイクリングや散策客は普段から多く見受けられる。</p>	
【観光資源としての利用状況】	
<p>「狩野川コリドー構想」とは、狩野川の河川空間を自転車や歩行者が連続的に利用できる空間として、周辺の観光施設・公共施設等も含め一体的に整備する構想です。</p> <p>堤防等を歩行者・自転車道として活用することから(一部区間を除く)、安全に通行でき、また勾配も緩やかなことから、散策には最適なコースになっています。また、狩野川越しに富士山が望める等、風光明媚な場所であることから、来訪者の印象に残る景色が楽しめます。また水流も穏やかなことから、カヌー・ボートの利用も盛んであり、狩野川全体で年間85万人の利用客が訪れています。</p>	

テーマ 流域の まち・ひと結ぶ 狩野川コリドー

【社会資本の基礎データ】

- 名称 : 狩野川コリドー
  - 所在地 : 静岡県沼津市・清水町・三島市・函南町・伊豆の国市・伊豆市
  - 事業名 : 狩野川コリドー構想
  - 事業主体 : 狩野川コリドー利用促進協議会
- 国土交通省・静岡県・沼津市・清水町・三島市・函南町・伊豆の国市・伊豆市・沼津青年会議所・中伊豆青年会議所・静岡新聞社・伊豆箱根鉄道(株)・狩野川倶楽部・中伊豆観光連盟・静岡県サイクリング協会・東静歩こう会・(財)日本サイクルスポーツセンター

○事業期間 : 平成15年度～

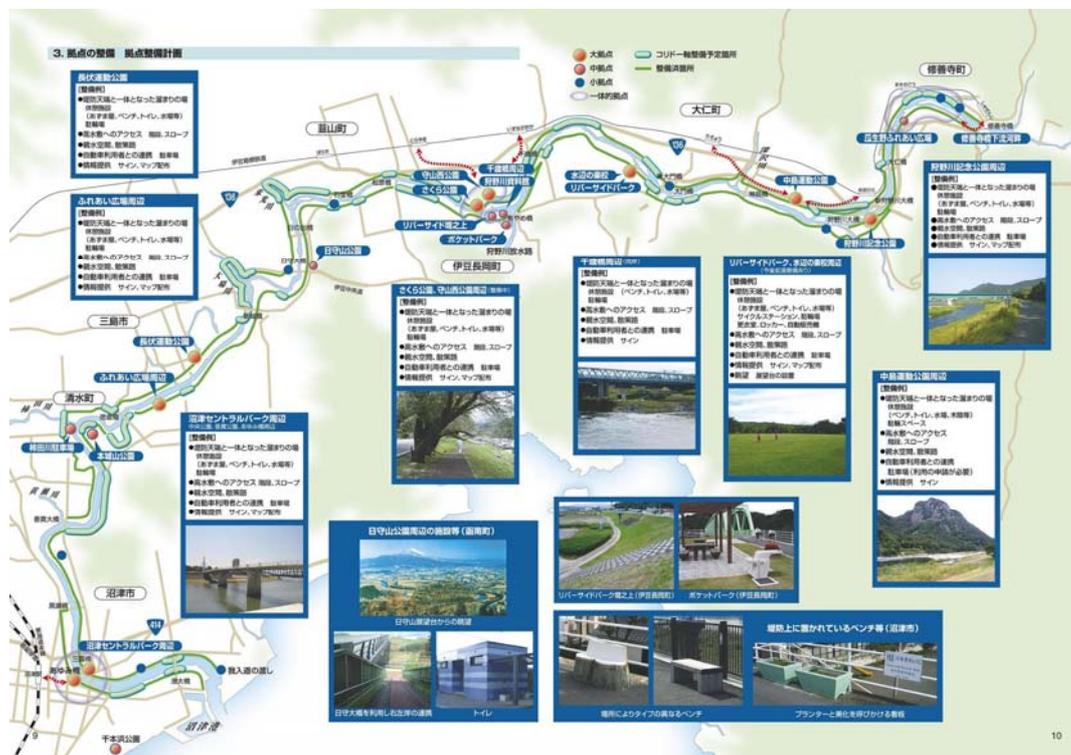
【社会資本の役割・効果】

「狩野川コリドー構想」とは、狩野川の河川空間を自転車や歩行者が連続的に利用できる空間として、周辺の観光施設・公共施設等とのネットワークも含め一体的に整備する構想です。

○直接的な河川空間利用の提供

狩野川を身近に体験できる空間を提供することから、狩野川利用者は年間85万人(平成15年度・推計値)に上り、その大半が散策目的となっています。また狩野川コリドーを利用したイベント「狩野川コリドーサイクリング&ウォーキング」が開催され、雨天にもかかわらず843人(平成16年度)が参加しています。

【位置図】



【関連ホームページ】

沼津河川国道事務所ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/event/index1.html>

